

新聞出版局次長



幸福感

自見 はなこ

参議院議員

生命の煌めきに報いる

私は小児科医という職業柄、人の「生命の始め」に触れることが多い。「おぎゃー」のその瞬間に立ち会うのである。多くは分娩室であるが、帝王切開であれば手術場での立ち会いとなる▼私が小児科を選んだ理由のひとつは、この立ち会いにあると思う。病院の中で「おめでどうございます！」と手放しで喜べる瞬間は出産であり、夢と希望にあふれている。新生児の赤ちゃんを移動用保育器に入れてエレベーターに乗る時や病棟移動中には、すれ違う闘病中の患者の方もお見舞いの方もついつい笑顔になる▼この可愛さを持つ子供たちであるが、強さも教えてくられた。それは、今を生ききる子供たちの姿である。辛い治療でも、その瞬間が終わるとケロリと笑う。向き合っているのは病ではなく生である。と子供たちが教えてくれた▼この国はどこへ向かうのか。キラキラした瞳の子供たちに十分な教育と安心できる暮らしをつないで届けていくことが生命の煌めきに報いることかなと思ふ。